

北大東村ため池群

(きただいとうそんためいけぐん)



東貯水池遠景(沖縄県の最東端に位置する)



貴重な水源として点在するため池群

ため池の概要

ため池の所在地

沖縄県島尻郡北大東村

ため池の特徴

北大東村に点在する農業用ため池は、島全域に農業用水を供給して基幹産業サトウキビ農業を支え、村の発展に大きく貢献しています。

また、様々な渡り鳥たちが羽を休める池はバードウォッチャーの穴場ともなっており、様々な水生昆虫も確認されています。

毎年4月第4日曜日のサトウキビの日には、PTAや子供会と共に島民そろって草刈や水兼道路の整備を行っています。

北大東村は昭和25年頃まで燐鉱石採掘事業が栄えていましたが、閉山後はサトウキビ農業が生活を支える重要な産業となりました。山もなく雨が少ない(以前は年間1600ミリ近かった雨が今では1100ミリ)という地形的にも気象的にも厳しい条件の中で、16ヶ所のため池を有効に活用しほぼ島全域(島の耕地面積の5割、274ha)に農業用水を供給しています。

開拓から百年余を迎える北大東村は、沖縄県内でも有数のさとうきび産地となっており、ため池からのかんがい用水がなければサトウキビ栽培は成り立ちませんでした。

また、島はミサゴ、トビ、サシバなど渡り鳥が多く訪れることでも知られ、ため池は鳥たちの貴重な休息の場となっています。特に冬に飛来するサギ類は、サトウキビや馬鈴薯の収穫時期になるとケーンハーベスターやトラクターの後ろから付いてまわり、掘り起こされる昆虫を啄む姿は冬の風物詩となっています。

関連情報

北大東村HP : <http://vill.kitadaito.okinawa.jp/>